

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸総合対策事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課
			実施期間	H17～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現					
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成			2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		


## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<b>【現 状】</b> 長野県の園芸作物（果樹、野菜、花き、きのこ）は、県農業農村総合生産の約70%、(2,097億円/県全体2,983億円 平成30年県推計)を占める主要部門であり、レタス、りんご、カーネーション、えのきたけなど全国シェア上位品目をはじめ、質の高い多様な品目・品種がバランスよく生産されている。
	<b>【目指す姿】</b> マーケットインの生産を基本に、県内で育成されたオリジナル品種や本県の立地条件を活かした販売力の高い品目・品種の導入、拡大等を進めることにより、競争力の高い園芸産地を実現する。
	<b>【実施内容】</b> 農業機械の導入、農業関連施設の整備、研修会の開催など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]								事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	前年度繰越		991,370	306,400	
1	生産振興を目的とした研修会開催回数	20回	31回 ↑	47回 ↑	40回	達成	現計予算	904,244	585,809		
2	果樹戦略品種等の栽培面積(シナノリップ、クイーンルージュ®等)	2,191ha	2,390ha ↑	2,534ha ↑	2,501ha	達成	合計(A)	1,895,614	892,209		
3	りんごの高密植・新しい化栽培面積	307ha	358ha ↑	520ha ↑	558ha	未達成	うち一般財源	65,838	58,832		
4	夏秋期のレタス、ハクサイ、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	48.9%	47.1% ↓	56.6% ↑	38.8%	達成	決算額(B)	1,572,252	703,633		
								職員数(人)	3.1	3.1	

成果指標設定理由	①関係団体、試験研究機関と連携する取組等から設定 ②～④実需者からの要望や苗木の生産計画、生産者団体等の出荷計画に基づき設定
----------	---

達成状況の分析	①品目ごとに生産振興に必要な研修会を効果的に開催したが、新型コロナウイルス対策で中止とした研修会もあった。 ②果実の消費動向等に基づき育成された果樹戦略品目等への生産者の関心は高く、新植・改植が進んでいる。 ③りんご高密植・新しい化栽培は、果樹経営支援対策事業を活用した新植・改植により導入面積は増加傾向にあるものの、苗木の供給不足や栽培施設の導入コストが高いこと等により目標達成には至らなかった。 ④市場流通における葉菜類は価格変動が大きい為、価格が安定している契約取引の割合が増加傾向にある。
---------	---

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓<b>マーケットニーズに応える競争力の高い信州農産物の生産振興</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご早期多収・省力化栽培技術導入、県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会の開催を支援</li> <li>・高品質で安定的な野菜産地構築に向けた新技術のモデルほ場設置、研修会開催を支援</li> <li>・キク類、カーネーション等の需要期安定出荷栽培技術確立を図る検討会開催を支援</li> </ul> </li> <li>✓<b>園芸作物の産地基幹施設等の整備を支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産コスト削減や高品質で付加価値の高い作物の生産・供給体制の確立のため、野菜出荷施設や農業用パイプハウス等の整備を支援</li> </ul> </li> <li>✓<b>スマート園芸機器の「お試し導入」を実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲ある農業生産者が最新機器の効果を実感できるよう「お試し導入」を実施し、県が購入した機器を生産者に貸し付け（4種類29台）</li> </ul> </li> </ul>	 <p>整備された野菜出荷用設備</p>
------	--	---

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>需要に応じた計画生産や高品質・安定供給できる産地構築のためには、機械化や施設化、スマート農業技術の一層の推進が不可欠であり、意欲ある経営体により導入しやすい仕組みが必要である。</p> <p>スマート農業技術を活用する「データ駆動型農業」では、生産者は、各種機器やデータを効果的に活用するための知識やスキルがこれまで以上に必要となっている。</p>	<p>園芸品目の分野ごとの特徴や本県の気象条件を活かし、温暖化等に対応できる強靱な産地の構築に向けて、機械化や施設化、スマート農業技術の一層の普及促進を図る。</p> <p>県オリジナル品種の高品質栽培技術や、環境モニタリングシステムの活用法などの習得、新技術の普及促進に向けて、モデルほ場の設置や農業者・指導者向けの研修会の開催、各種マニュアルの整備を進める。</p>

事業番号 09 04 01 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	信州農業生産力強化対策事業	52,905 千円	45,044 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	信州農業生産力強化対策事業	補助金	長野県農業の多様な生産力を図るため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等を支援した。(31団体)

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	皆で取り組む園芸振興事業	3,105 千円	3,355 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	りんご新しい化栽培等新技术の普及や、県オリジナル品種栽培技術の向上に向けた研修会、及びりんご・ぶどう等の県オリジナル新品種の生産拡大に向けた検討会等の開催を支援した。(研修会等の開催21回)
2	野菜の生産振興及び多品目化等実需者の求める野菜生産の推進	補助金	気象変動に左右されずに安定供給できる野菜産地の構築を目指し、省力化技術や生産性向上技術の導入推進に向けて、地域モデルほ場の設置、研修会の開催等を支援した。(モデルほ場14か所、研修会等の開催19回)
3	新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入	補助金	キク類、カーネーション等の主要切花の需要期の安定出荷に向けた栽培技術の確立等を図るため、地域モデルほ場の設置、検討会の開催等を支援した。(モデルほ場18か所、研修会等の開催7回)

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	園芸産地強化対策整備事業	1,510,083 千円	655,079 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜・果樹の出荷施設整備等を支援した。(10団体)
2	農業用ハウスの強靱化	補助金	災害に強い施設園芸産地づくりを進めるため、十分な耐候性のないハウスにおける補強や防風ネットの設置等を支援した。(16団体)

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
4	スマート園芸体験事業	6,159 千円	155 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	スマート農業技術の導入推進	直接	スマート農業技術の現地普及を加速化するため、農業機械メーカー等と連携し、意欲ある経営体が最新機器の効果を実感できるように「お試し導入」を実施。(4技術 29台)